

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

「すべての生徒が、美鈴ヶ丘中学校へ来てよかった。」というような学校づくりという内容で、お話ししていただきました。

学校全般にわたって適切な学校にするためには、わかやま、授業、行事の取組、人間関係の構築が不可欠です。

先生のお話を聞いて、特に印象に残っていることは、生徒の目線ということです。「我々教職員が、教職員みんなでチームとして動いているか」、「組織として動いているか」を生徒の目線で見えているか。等、教職員が組織的に動いていることを、生徒に見せる、感じさせることの大切さを学びました。

授業初め、生徒にワクワクさせるような導入をすることの大切さ、導入後の生徒のふぶきをどうと、ふぶきに対して、教師から生徒へのさりげないほめ言葉等の声かけや「あなたのふぶきを聞いているよ、見ているよ」という教師のうなづき等の生徒の集中力が持続することを学びました。

これが共感することです。教師が生徒の身になって一緒に感じることを生徒の気持ちを楽しませるように寄り添い、きちんと向き合うこと。これらを一つ一つ積み上げることで、「すべての生徒が、美鈴ヶ丘中学校へ来てよかった。」と言ってもらえる学校になると信じています。

2 マイアクション

学力向上と自己有用感醸成

目指す姿に対して、今現在どこにいるのか、生徒、教師、学校の音を見取り(現状把握)、教育活動の質を高める。

課題はカリに目を向けるのではなく、良さに着目していく。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

ワクワクする学びにするためには、見通しが大切である。見通しを持てるようにするためには、生徒が知りたい、伝えたいという気持ちを揺り起こすことにより、学習内容が「つながり、深まり、そして、と知りたくなる。授業の流しを伝えることが通しではないことを学んだ。私は見通し＝流しだという認識でこれまで授業をしてきたので、「つながり」を意識した見通しを授業に取り入れてきた。また、生徒自身が主体性、主体的に取り組める工夫をすることがワクワクさせるためには必要なことだとわかった。

先ほど「つながり」というワードを用いたが、単元のまとめ、連なりについても学ぶことができた。単元計画は山場を決めて、構想を練ることが大切である。体育の授業を計画する際、山場を考えて授業することにより前向きに生徒の授業に取り組む姿勢が培われると感じた。

今回の研修で「見通し」と「つながり」の重要性を学ぶことができた。実践していった。

2 マイアクション

学習指導要領を読みこむ。ワクワクさせる授業作りを心がける。生徒がハッとする授業、納得する授業を目指す。そのためには「つながり」を意識し、単元計画を練り直す。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

今回は、授業に於いて、特に題材の構想に於いてじっくり考える機会になりました。ありがとうございます。ゴールからの逆算は、常にしているつもりでしたが、PCに向かって打て込むより、カードに紙芝居のように、他の先生へのプレゼンを意識してメモすると、一つひとつの活動がどうつながったのか、流れを確認することができました。また、又々喋ることや面白いのか面白くないのか、流れがあるのかないのか、自分で気付くことができました。実際に見ていたたいな給文字の授業へのコメントと合わせて、より生徒への目的意識をもち、力加つて題材を考えたことができたと思います。グループの対話の中で、「生徒はそんなことをやってましたか?」と驚かされたのか、作品の中間鑑賞会の中で、相互に批評(アドバイス)することができた。普段「ダメだ」と思っていた投げ込んでいた中で、意外に興味を持った。たまたま午前、小学校の授業の様子も見たのか自然にやっていた中で、そのエピソードも、「ダメですよ」と返されたのか、教員同士で様子も見取りか大きく違うことに気付くも、授業でどうなるのかを考えているか、考えているか、話す時間をもつた人と思いました。自分の教科で活用できたか、他教科で学んでいるか、知る必要かあると感じます。中嶋先生のお話は、多くの事例や関連動画を活用されたとお聞きされました。私も、生徒も集中させる等々を考え直します。

2 マイアクション

カードに書いた明かりの授業改善は、実際にやってみます。自分たち個人で作品も仕上げて見せ合うだけでなく、お金の感動する空間づくり、それをチームやクラスで考え、実際に作品紹介できるように今までのより深く深く頭を使い、力を伸ばすことができたと思います。

個別にいたたいな助言ができたのか、同じ「夏(漢字)」の給文字でも、どの作品が伝えたのか、優れていると思うか、グループで話し合ってみよう。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

授業を生徒主体の活動とするために①単元計画を立てる時

②授業の中で の2つに向けて学んだことを振り返りました。

① 単元計画を立てる時

単元に入る前の形成的評価、生徒の実態を踏まえた上での単元計画ができているのか、見直しをもたせて、単元がスタートできているのか、山場をしっかりと意識して単元計画を立てることができているのか、研修の中で振り返り自身の単元計画の甘さに気がつくことができました。日頃から授業のつなぎは意識しているつもりですが、紙芝居のように次の時間が楽しいとふるふるつなぎを考えていきたいと思います。

② 授業の中で

「指導」と「学習」のバランスはどうかということですが、果たして、生徒に委ねること、生徒同士で指摘し合うこと、自分の言葉で振り返りをさせることができているのだろうかと考えたとき、自分の意識の甘さに気づきました。日頃から個人の時間は大切にしているつもりですが、「答えを知りたい」につなげるという視点を知ることができました。

いつも中嶋先生の研修を通して、たくさんの方のことを学ばせていただいています。ありがとうございます。

2 マイアクション

① 「共感」を意識すること

"Heal the World"の歌詞のように同情ではなく共感をするというものはクラスの生徒にも伝わると思います。大切にしたい姿勢だから。具体的には学級通信、ワークシート等を生徒目線で読み返してみたいと思います。

② 単元計画をしっかりと立てること

生徒が見直しができるよう、ゴールを明確に伝えるために、山場を意識して単元計画をしっかりと立てる。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

今回中嶋先生の講演を受けて自分の授業がいかに教師主体の授業だったか気づきました。私は、パワーポイントとプリントを使った授業をしていますが、先生がプリントを配り終わって満足していると言われた時に「下キム」としました。これこそ管理タプラーで言っただけ、プリントに書かせただけで生徒に伝わった、理解してくれたと思いついていただけなのかなと思いました。生徒が興味なさそうにしているも、ちゃんとプリント埋めんとテストで困るんだが、「ほー」と聞いてたらついていなくなるんだとか言ってる生徒が悪いと考えていたのですが違いました。改善していこうと思いました。

また、単元を「座布団の積み上げ」から「紙芝居」にというテーマでしたが、私の授業は正直前者で山場の意識やつながりがないものでした。ゴールを設定してそこに向けて一時間、一時間授業を作っていくという単元というからには当たり前のことができておらずそのせいで生徒の意欲や効果的な学びが引き出せていなかったと思うと、もったいないと思いました。指導案の書き方から見直し生徒が主体の授業にしていきたいです。

2 マイアクション

今現在の授業はプリントを用いて授業をしたけど私の言った事を書き込むという場面が多い教師が主の授業です。プリントスタイルに関しては、続けていくがプリントの内容を生徒が思考できるものにしていきたい。そして、即興でリアクションして生徒に返すことを意識したり、共感したりできるようにしたいと思います。今回学んだことを吸収し振り返ります。

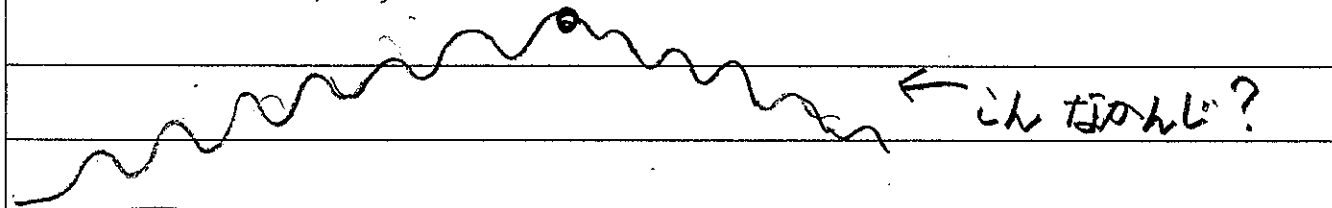
振り返りシート

名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

1. 授業づくり

単元全体を見通して一つのストーリーのように授業を組み立てることが再確認できました。単元のヤマを決め、ストーリーを組み立てています。さらに単元だけでなく、1時間の授業にもヤマがあると考えます。私は授業は登山であるとうえました。頂上へ向かうまでの道は、アップダウンをくり返します。授業も小さなヤマを登ったりおりたりしながら、単元のヤマにたどりつく。



またその題材を好きになる。ほれこむ。その題材の原点(原典)にあたる。これが教材研究なのかなと思います。好きな人について、色々知りたくなり、調べたくなります。それと同じですね。

学習指導要領の大切さも再確認できました。先日、別の場所でも授業をつくるポイントの一つとして、「学習指導要領の読みこみ」という視点をえました。「何のために」「どんな力をつけるのか」を意識して、授業づくりをしています。

2 マイアクション

- ① 学習指導要領に基づいて、毎時間授業をつくる。
- ② 単元全体を見通した授業づくり。教材を好きになり、深め(原典にあたり)、ほれこみ、楽しく授業をする。
- ③ 笑顔の練習。毎朝、鏡に向かってニコリ。
- ④ 学び続ける。(読書せかけ)
- ⑤ ①②④ができる時間の確保(朝活??)をして、心と余裕を!!

2. 本気になって学ぶ

普段、生徒たちに「勉強しなさい」とよく言うが、教師自身はとうなのかな？ と思います。子どもたちの主体性を育成するためには、教師自身が主体的に学ばなければならぬと考えます。「何のために」学ぶのか、~~教師~~教師それぞれ興味・関心はちがうし、内発的動機づけも変わっていると思います。自分自身「何のために」「どのような力をつけたいのか」を問いながら様々な場面、方法で学び続けます。

申島先生の教えた生徒が変わっていくのは先生が本気になれているからだと思います。私も本気になって学び続けます。

この度は、研修に来ていただきありがとうございました。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

私は、生徒に（よ）させる教材の工夫ができていたのだから。
私自身が「それが」「これいいよ」と思うことも、全く生徒にひびいて
いかなかったことが、今回の授業を通して、講演を聞いてよく
わかりました。まさに自分ごととして考えることができていませんでした。
子どもの視点に立ち、子どもがいつかいい場面と作ることも、いいよと
思うことは共有すること、見取りにいい情報はクラスで共有し
つよげることが改めて大切だなと思いました。自信がほしい生徒は
その場面をつくることで、何を書けばいいのかわかるということ。
私のこれからの課題は、「こんなめあてけれど、どこで見本を見せて
いい情報と共有し、子どもに気づかせることです。実技も保健の
授業も同じだなと思います。私は子どもと一緒に授業するのかが
とても楽しいです。この楽しいが一方通行ではなく、生徒も楽しい
学びたいと思えるような授業をしていきたいです。

2 マイアクション

保健の授業は、どこに山場を持っていかで、生徒が興味
味、関心をもってくれる内容が大切なので、もっと自分ごとにするのは
授業展開の工夫、そのためには見直しと採った計画を立てること。
生徒が〇〇できるようにするには、どこで見本と見せるのかということ
そして、いつ共有するかということ。
保健の授業も体育の授業も同じであり、苦手は保健だからで
私自身が好きになれる授業にしたいです。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

このたびの講演で次の内容に関して、強く印象に残り、授業を変えていきたい思いを抱くことができました。ありがとうございます。

① ^{単元}の単元をまとまりとして捉え、ねらいを明確にすると、^{それ}ひとつひとつの授業に^{つながり}かかです。生徒は見通しを持つ。そしてそれはワクワクした気持ちで主体性を持って自ら考える力を育むことができます。

・そのため、教師は学習指導要領や指導書を理解し、単元を貫くねらいを明確にもつこと。そして、そのねらいを単元のはじめに知らせること。さらにそのねらいに向け生徒がノビせと自己表現するために授業のルールを最初から共有し徹底すること。

② ^{生徒}が主体的に学習に向かうための素地(人間関係)を大切にする。

・共感とは相手の視点を真実に受けとめること。共感を得た生徒は、認められた気持ちになり、受けとめてもらった相手に信頼を感じ、一方同情は、上から目線と看するため、気をつけなければならぬ。

・導管×47パーに気をつけること。生徒に伝えているか、を工夫する必要がある。フインターを応用しているか、文脈の中で伝え方としているか、板書、プリント、映像を整理して見せているか、伝手の立場になった、また、生徒の心に届くやりとりを大切にする。

2 マイアクション (次にやること)

・学習指導要領と指導書の内容を読み、理解を深めます。

単元のねらいやその解説(根拠)を正しく理解し、その「ねらい」に効果的に迫っていく授業の構成を工夫します。

・授業のルールを共有し、徹底します。

安心して生徒が自らの意見を述べたり行動したりできるような授業の環境づくりをします。

振り返りシート

お名前 (

)

1 今回の講演で学んだこと

研修会を終えて、私自身の授業は、座布団の積み上げ式の要素が強いと改めて感じました。私芝居にするために、学習指導要領に書かれている内容に基づいて、「単元計画を立てる」「山場をつくること」の2点が重要であると学びました。単元計画を立てるために、まずは生徒の実態をふまえ、興味関心をもとに、個別最適な学びの展開が必要だと思いました。社会科では、生活に結びつく内容を、いかに生徒が自分事としてとらえ、生徒が主体で決めることができる学習につなげたいです。

これまで単元計画と単元の目標を考えるのみで、山場の設定をしたことは、ありませんでした。山場をこえて、1つの単元がストーリーになるよう、「なぜ、そうなるの?」「知りたい!」が常に出てくる展開を考えたいです。また、単元だけでなく、社会科での地理、歴史、公民とのつながりを持ち、ひとつのストーリーにしていきたいです。

中山鳥先生ありがとうございました。

2 マイアクション

山場のある単元構想を行い、見通しを持つことです。そのために、再度学習指導要領を読みこみます。自己流の授業展開になっている所がどこなのかを、もう一度振り返ります。単元終了後のゴールを生徒とともに共有・確認をしながら、学習を進めます。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

- ①ストーリーを作って、それぞれの單元ごとのつながりを、学習者に気づかせる工夫が必要なことが分かった。
- ②物語が頭の中に残りやすい性質を使って、学習の過程で必要なものだということがわかった。
- ③学習者主体の授業づくりを見直していこうと思う、そのためのきっかけが得られた研修でした。
- ④中嶋先生の HP に掲載されていた、『納得』できる形でのかわり方が大切だということが分かった。
- ⑤生徒の興味関心を惹かせるための工夫をしっかりと作ることが、自分の授業で足りないものだと分かった。

2 ふり返り (自分の授業に取り込むことを具体的に 注！感想ではありません)

- ①単元の見直しをもって、物語形式で授業を展開する。

例えば『仮定と結論』の單元について、私は『いかに結論にたどり着くか、計画を立てて、達成を目指すプロセスづくり』を重視したいです。三角形の合同を示すためには、どのような条件が必要で、合同条件にたどり着くまでにどのような過程を考えることは重要と考えます。そのために、図形に関する要素(同位角や錯角・二等辺三角形の性質など)についての理解を、身のまわりにある具体的な構造物(エッフェル塔やピラミッドなど)を用いて、活動できるような計画を立て、その先の『合同であることの必要性』を工学や物理学の観点から、生徒から「いろんな構造物について調べてみよう」というように動機付けを促せる仕組みを作りたいです。そして、どのようにして構造物を図形とみなせばいいかや、どこまで「仮定」を定めればよいかなど、証明するまでの流れの計画を立て、その達成に必要な条件を見つけながら、検討させたいです。また、生徒自身の言葉で語らせるように、目的や伏線をつかった授業の流れを確立していきたいです。さらに、生徒自身の学びに関するアイデアや意見を集約することができるように、十分な時間を設け、生徒の言葉で自分の考えと向き合えるようにまとめの時間を作る。

- ②ねらいを明確にして、スモールステップで達成できるように取り組むことができる工夫をする。

学習指導要領を基にして、ねらいを決めるだけでなく、達成のための手立てを取り入れられるよう生徒の立場になって単元を構想する。そのために、生徒の関心ごとと学習内容を照らし合わせながら、具体的な内容を取り入れる。例えば、『図形の性質を証明する手順を理解して、簡単な図形の性質を証明することができる』ためには、『図形の中の要素を見つける』+『合同条件を満たす要素を見つける』+『特定の図形の場合で成り立つ条件を知っている』+『証明の手順を理解する』+『実際に証明ができる』ことに分解して、それぞれの目標を達成するために必要な技能・表現力を付けるためには、どのような活動が効果的なのかを、下調べをして実践する。

以上①②の達成のために、日ごろから生徒の発言の真意を読み取れるよう、普段から生徒の実情を踏まえ、本人から出てきた意見をクラス全体で共有できた感覚を、本人およびクラス全体から得られるような返し方をしたい。そのために、共感をふまえた生徒との向き合い方を考え直し、改善をする。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

今年度、私自身の授業テーマとして、①単元を通した問いの設定 ②しゃべらないう授業の展開(教師側)の2つを設定している。今回の講演では、単元のまとまりが生徒を成長させる授業になると、生徒を主役にした授業をすることの大切さを再認識することができた。単元のまとまりでは、最後にしてほしいことを学習指導要領をもとに決める。また、山場にも、ていくために1時間目から教師が見通しをもつことに加えて、生徒もしっかりと見通しがもてる内容を考える必要がある。そこがいつも悩むところであり、難しさを感じている。研修の中で、生徒が、「なんで?」、「調べてみたい」などの自分事にさせることが、見通しをもった授業となるということ学んだので、学習指導要領と教科書、生徒の身近なもの、生活につながるものを日々教材研究していき、単元を通した問いの設定を行う。これが、生徒主体であり、教員側がしゃべらないう授業につながる感じた。

生徒指導では、「共感」ができるよう、生徒目線で、対話していこうと感じた。よく、「同情」になってしまいがちなので、大きな反省である。

2 マイアクション

- ① 学習指導要領に基づいた課題の設定と、生徒が「どうして?」、「調べてみよう」となる問いを日々情報収集していく。
- ② 単元のまとまりを事前に他の先生に見ていたとき、生徒が興味をもてる内容になっているのかを判断していく。(他教科の先生方から意見がほしい!)

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

今回の講演を通して、改めて自分の授業に対する考え方や、組み立て方について、見直すことができたと思います。年度始めに、令和型指導案で、授業の構想をある程度、形にしてみました。でも、その構想を考えた時に、「山場をどこにするのか」ということをあまり深く考えていなかったことに気がきました。生徒の活動をそのまま並べていたように思いました。今回、カードに1枚ずつ記入し、「山場はどこなのか」「どんなストーリーになるのか」を考えた時に、その山場がいかにおもしろく、ワクワクするのか、ということを私自身がうまく語りませんでした。限られた授業の時間をもっとフル活用して、生徒が「おもしろい!」と思えるようなストーリーをもっと深く考えていこうと思いました。

自分が考えていた題材の計画の流れを、もっとストーリー性のある内容にしていく必要があると感じました。同じグループの先生方のお話を聞くと、山場にしたい活動に対して、より多くの熱量をもっておられる印象をもちました。その思いがしっかり生徒にも伝わり、生徒も「おもしろい!」と感じるのではないかと思います。私自身が音でワクワクする瞬間をたくさんもてるように、教材研究をより深めていこうと思います。

2 マイアクション

今後は、自分が取り組もうとしている授業の構想を、様々な角度から見つめ直し、もっと自分がワクワクするようなストーリーを考えていこうと思います。紙芝居のように、「次、どうなるんだろう?」と楽しみになるようなストーリーを考え直していこうと思います。そのためには、自分がワクワクすること・ものをたくさん見つけて、授業の構想のヒントにしていきたいと思います。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

- 研修会終了時、充実感・衝撃は、昨年同様大抵は
おさまったが、今年のお話の内容を深く理解できた
おに感じている。中島先生の考え方に少し近づけたから
かと思ふので、今後の自分の変化が楽しみ。
- 単元をいつの子と判りに捉えると、最終時を意識して
授業を進めることになり、自分の中身の流れがスムーズに
なった。中和の量の関係 ← 中和とは ← 酸・塩化リ
← 電解質
- カートを使って天体の単元を考えたが、これは最後の
月の見え方、金星の見え方に関する流れがしっかり意
識でき、自分にとってとても良かった。

2 マイアクション

- まず、これから授業の単元について、流れをしっかりと整理して
いきりたい。その後、3年間分の授業についても取り組んで
いきたい。

振り返りシート

お名前 ()

1 今回の講演で学んだこと

今回の講演で学んだことは授業、単元を座布団のように積み上げていくのではなく、紙芝居のようにまとまりでとらえることの大切さです。生徒は、日々の授業のつながりや伏線から学習内容に興味を持ち、主体的に学習に取り組み始めることがわかりました。また、つながりのある日々の授業の中で、教師側が中心となるねらいやこだわりを持ち、そこに迫っていくような授業づくりをしていく必要があると気づくことができました。そのためには、まず新学習指導要領を読み込みねらいを決めるだけでなく、達成のための手立てを生徒の立場に立って単元を構想していく必要があると思います。授業ごとの振り返りや準備を丁寧に行い、ねらいを達成するために必要な知識、技能、思考、判断、表現力を生徒に付けさせていきたいと思っています。

2 マイアクション

実技教科なので、完成した作品から逆算した授業づくりを行ってみたいです。組み立てるためには…材料を正確に切断・切削するためには…作業を安全に行うためには…など、生徒が次の授業が楽しみになるような単元を考えてみたいです。